

## 同窓会の「蟲」が蠢きはじめて!

### ●今年「こうのとり」の里・野田を訪ねる旅!

今年春分の日には雪が降るほど寒かったのですが、1週間も経たないうちに桐生や大子町では夏を迎えたというのですから異常ですね。それでも、暖かいのは嬉しいものです。

「春」になると思い出すのが「蠢く(うごめく)」という漢字です。「春」という字は「太陽に照らされ、草木が茂って束になる」という背景を持っている字だそうで、「蠢く」は春になって虫が草木の下でざわざわとしている様子そのものなのです。古文書では動物を総称して「蟲(ちゅう)」という字を充てたそうで、「羽蟲:鳥」「毛蟲:獣」「鱗蟲:魚と爬虫類」「介蟲:甲殻類と貝類」「裸蟲:ヒト」などという表現が登場するそうです。

話がそれましたが、春になると同窓会の「蟲」が蠢き始めます。明日は中学同窓の集まり「おおとり会花見」があり、4月13日は高校同窓会で「浦和一女OGとの交換会」、22日は浦高同窓会の「常任理事会・理事会・懇親会」が開催され5月総会に向けた議案が審議される予定です。春日部地区浦高会でも4月26日に親睦ゴルフコンペがあり、5月13日には久喜麗和会との合同企画/小旅行2018初夏「こうのとり」の里・野田を訪ねる旅を予定しています。

◇ ◇

### ◆久喜麗和会・春日部地区浦高会合同企画/小旅行2018初夏「こうのとり」の里・野田を訪ねる旅

皆様、こんにちは。光の春がそこまでやっていますが、お変わりございませんでしょうか。昨年は、久喜麗和会の奥貫様のご案内で久喜の歴史と自然を堪能いたしました。今年野田市の「こうのとり」の生態や利根運河の歴史などを学び、その後、お互いの懇親を深めたいと思います。

平成30年3月吉日

久喜麗和会会長 眞田 忠雄  
春日部地区浦高会会長 根本 崇

■日時:平成30年5月13日(日) 9時30分~14時予定

■集合場所:梅郷駅東口(東武アーバンパークライン)

■コース:梅郷駅集合(9:30) ~ バス(9:48発、梅郷住宅行) ~ 梅郷住宅(10:00) ~ バス(10分) ~ コウノトリの里管理棟(約1時間半) ~ 徒歩(10分) ~ クリアビューホテル(懇親会、ランチビュッフェ約1時間半) ~ バス(10分) ~ 梅郷駅解散(14:00予定)

■懇親会会費:お酒を飲まれる方 4,000円程度、お酒を飲まれない方 2,000円程度

### ① コウノトリの生態等

未来を担う子どもたちに多くの生き物がいる自然環境を残したいと考え、これまで進めてきた生物多様性の保全・回復の取り組みが後世に引き継がれるよう、生物多様性のシンボルとしてコウノトリの舞う里を目指し、江川地区に飼育・観察が可能な施設を建設するなど、準備を進めてきました。東京都と公益財団法人東京動物園協会の協力を得て、平成24年12月4日に多摩動物公園から2羽のコウノトリを譲り受け、飼育を開始しました。【野田市HPより】



### ② 利根運河の歴史

利根川と江戸川をつなぐ一級河川の運河(人工河川)。日本初の西洋式運河である。【ウィキペディアより】



### ③ 悲しい福田村事件

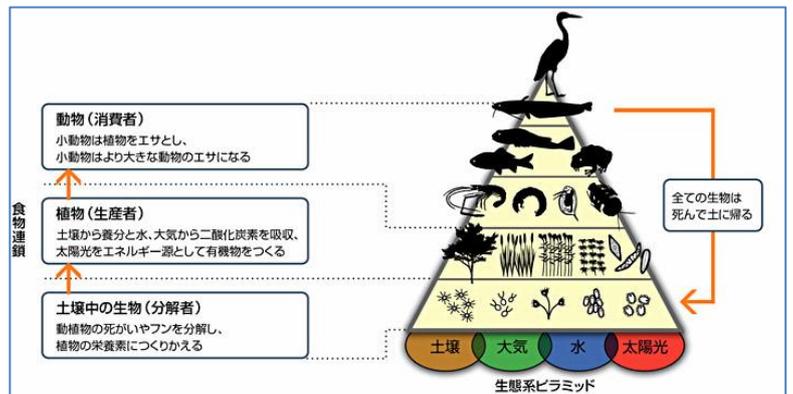
1923年9月6日、関東大震災後の混乱および流言蜚語が生み出した社会不安の中で、香川県からの薬の行商団15名が千葉県旧「東葛飾郡福田村三ツ堀」で地元の自警団に暴行され、9名が殺害された事件。【ウィキペディアより】

◇ ◇

さて、5月に見学する「こうのとり」は生態系ピラミッドの頂点に君臨すると言われています。

### ◆こうのとりを頂点とする生態系ピラミッド

自然界では、生物が生きていくために必要な、「土壌」「大気」「水」「太陽光」からなる環境要素と、そこにすむ「生物」との間に、バランスのとれた「生



態系」がつくられています。

このように、生産、消費、分解を繰り返すことを「食物連鎖」といい、この様子を図式化したのが「生態系ピラミッド」です。【円山川の自然再生事業】

◇ ◇ まさに「蟲」の循環を勉強する企画になっています。この時期には、新しい生命との出会いも期待できるかもしれませんね。